

恩師のたより

古い写真から

旧職員 渡辺 武昭



写真は私の古いアルバムに貼り付けてあったもので、撮影の日時も、どんな会であったのかも全く記憶がありません。

基礎盤があること、それに殆どの先生方がネクタイをされていることから推測しますと、名高初代の佐藤徳山校長を送別する先生方の囲基会後の写真で、昭和三十年十月に撮影されたものではないかと考えられます。五十年前の写真ということになります。

鳥本 勇(定時制主事)、中辻藤雄(体育、後に名高八代校長、佐藤寿(書道、十期学年主任、石黒良夫(商業科主任)、小杉哲夫(物理、軟式庭球)、大田正大(化学、十期学年主任、八尾孝一(体育、フオークダンス)、大塚 勉(社会、応援団)、鈴木整(体育、スキー)、名取 昭(英語、羽球)、吉田 隆(定時、化学)、嵯峨宏(定時、)

沢井芳郎(数学、後に名劇館主)、山川恒夫(化学、バスケット)、高橋稀一(定時、社会、小山 隆(生物、バスケット)の先生方、それに私も写っております。

名寄出身の小柳慶一(数学、旭川)、対馬仁郎(札幌)、菊地健次郎(国語、札幌)の先生方も名寄から離れておられるので、現在名寄に住んでおられる名高初期の先生方といえば、名取 昭先生と、山崎博信(現名高同窓会会長)先生だけになったのではないのでしょうか。両先生の御健勝を祈ります。

私の結婚式(洞爺丸台風で宴の途中に停電)には、ご夫妻に私の親代わりをつとめていただいたり、奥様には、文学サークルへの参加を誘っていただいたりと、佐藤徳山校長には公私ともに大変お世話になりました。

対馬仁郎(数学)先生が八十周年誌(百八十二頁)に「佐藤徳山校長の思い出」として寄稿されていますので、是非一読されるようお願いいたします。

私が名寄高校校長であった昭和六十六一年頃には、名高初期の先生方の中には、森 英策先生(教頭、英語)、秋元秀雄(社会、園芸)、石黒良雄(先生方はすでに亡くなられ、関川貞二(国語、森先生の次の教頭)先生は東京に行かれています)が、名寄には木原秀雄(数学、木原天文台)、佐藤徹雄(工作、スキー制作)、石田きよ(英語、英語、潮見 清(美術、絵画)の先生方が、士別に北村大三(柔道、レスリング)先生が健在で、色々とご指導をいただいた記憶があります。

私が名寄を離れた後、潮見先生は東京へ、北村先生は伊達へ、石田先生は室蘭へと転出され、さしは室蘭へと転出され、先生方は亡くなられたと聞きました。

昨年八月、十期の同期会で名寄を訪れた時、皆とバスで市内巡回をしました。北京オリンピックの女子柔道、佐藤愛子選手の健闘を祈る「のぼり」がはためく中を名高の白楊館、北国博物館、ピヤシリスキー場のジャンプ台などを訪れました。光陵高校キャンパス前で「来年四月から名寄光陵高校と名寄産業高校が統合される名寄産業高校になる」と幹事から説明がありました。高校教育統廃合の流れは、まだ名寄では続いているのかと驚きました。しかし、この度送られてきました名高同窓会報を見ますと名高は「集中の行」の校訓のもとで、大学などへの進率、内容ともに素晴らしい、クラブ活動の面も活発であると報告されており、これからも地域教育の中心として発展していくものと意を強くした次第です。



汗と涙で燃えた行灯行列

旧職員 平田 真人



拙宅の和室にオルゴール付きの大きな柱時計が掛かっています。定年退職する平成十一年に名高二十九期卒業の三年C組の諸君が道内外から駆けつけ、札幌のホテルで退職パーティーを開いてくれました。その時の記念品としていただいたのがこの時計でした。ボタンを押すとオルゴールが起動して、舞台が上がり赤や緑の光線を放ちながら、可愛らしい人形たちがメロディに合わせて踊ります。孫が赤ん坊の時、泣いて手に負えなくなると抱いてボタンを押すと、すぐ機嫌良くなったものです。孫も成長して小学二年と五年になりました。昭和四十七年四月に浦河高校から名寄高校に赴任し、最初の二年間は定時制でした。四十九年に全日制に移り、五十四年三月まで生徒と楽しく過ごさせてもらいました。

その頃は、普通科と工業科の分離独立、新校舎への移転問題などで大変忙しい時期でした。長年続けられてきた学校行事も見直しを迫られ、その中

に名高祭の行灯行列がありました。クラス数が半減したことや市中心部から遠く離れたことで、存続に消極論が多かったのですが、生徒の熱意や父母、市民の期待が強く続行が決まりました。

新校舎に移って二年目、昭和五十一年の名高祭は忘れられません。校庭には真新しい角材があちこちに積まれ、大道具を手にした生徒が動き回り、図面を見ながら作業する光景は、まるで木工製作場のようでした。3年C組は「牛車」という大きな行灯作成に挑戦して、設計図通りに進まずやり直し、修正などで四苦八苦、行灯が大型なのでローソク作りも大変。集めたローソクを溶かしてコーラの空き缶に入れて固めるのですが、期待通りにいかずこれまた苦労。装飾は女子生徒が担当していましたが、時間と手間が掛かり、学校で許可された時間ではとても無理で、どこか校外の秘密の場所に集まって活動。前夜祭当日、出発間際まで手直しで何とか完成。市中心部に行灯を運び、薄暗くなる頃点火。大勢の市民が道道で見守る中、喚声を上げながら全員で交互に行灯を担いで行進

行灯の中で仕事をする生徒は大変で、汗まみれ、ローソクまみれで、ローソクの交換や回りに火がつかないか必死の観察。校舎に戻り、いよいよ最後のドラマの始まり。全員が校庭の焚き火に殺到。真っ赤に夜空を染めて燃え上がり、火の粉がホタルや星のように飛んでゆく。感極まり泣き出す女子生徒。グラウンド全体が興奮の渦に包まれました。私のクラスは最優秀賞をねらっていたようですが、結果は優秀賞でした。でも完全燃焼でどの顔も輝き、まさに汗と涙の燃える青春でした。自らの手で物を作る機会がほとんどない時代に、全員で知恵を出し合い、試行錯誤しながら協力して、大きな行灯を作り上げた喜びは、何物にも代えがたい貴重な体験だったと思います。卒業後の波乱に満ちた人生の大きな糧になったことでしょう。

退職を機に尺八を習いで十数年あります。六年前に私立高校の講師をやめてから、近くに畑を借りて野菜作りを始めました。町内活動にも関わらない日々を過ごしています。平成十七年秋に、新校舎見学をかねたクラス会の案内をもらいましたが、検査入院で出席できませんでした。機会があれば、名高祭の時期にと

名高の思い出

旧職員 山崎 寛一



みんな元気かい？山寛だよ！名高を去ったのは随分前のことのように思っていました。今このように原稿を書くことを頼まれ、あの当時は振り返ってみると、ついこの間のこの様に生き生きと私の記憶によみがえってきました。

私が名高に在職したのは、昭和50年から56年の6年間でありますが、名寄は妻をめぐり、二人の子を成したところで、私にとって大きな人生の節目を過ぎたこと忘れられないので、できない土地でありました。山崎英樹という生徒がいました。その時、名寄市と姉妹都市であるカナダのリンゼイから交換留学生がきていました。私が教室に入ると、その山崎君がリンゼイからの交換学生の通訳をして授業の私の期するところは、とにかく死ぬまでスポーツ、ストレッチetcを続け、人様の迷惑にならないように人生を送ることで健康で元気でいければ、またみんなと会えるかもしれない。山思い出はありますが、以上の3つのことを読んで懐かしく思ってください。

印象に残っていることを、3書いてみたいと思います。その1 ある時、部活のトレーニングで廊下を走っていると、3年D組に教室に呼び入れられ、どこかの有名大学の入試問題をやれというのです。私を試そうというわけです。生徒たちは、私をかまってくれたのです。私もまだ若かったから。その2 授業中にある生徒が、本当は「連鎖(鎖状)関係代名詞」ところを「釣鐘式」と答えたことがありました。1年生(だと思ふ)の授業でありませんでした。まだ学習していないはずの内容です。おそらく、大学受験に向けての勉強に取り組みんでいたんですね。さすが名高と感心したものです。その3 今はHBCのアナウンサーをしている山崎英樹という生徒がいました。その時、名寄市と姉妹都市であるカナダのリンゼイから交換留学生がきていました。私が教室に入ると、その山崎君がリンゼイからの交換学生の通訳をして授業の私の期するところは、とにかく死ぬまでスポーツ、ストレッチetcを続け、人様の迷惑にならないように人生を送ることで健康で元気でいければ、またみんなと会えるかもしれない。山思い出はありますが、以上の3つのことを読んで懐かしく思ってください。

人がいれば幸いです。なんとと言っても、私との関係が深かったのはスキー部の生徒たちでしょう。冬はもちろんのこと、あの極寒の中、春は5月に入ってからピヤシリのの上の方まで残雪を求めて滑り、オフにはあの校舎前から風連の方に向かって走りまわりました。夏休みに入る毎年、オホーツクの沿岸の興部という町の近くでキャンプを張り、20キロのタイムレースをやりました。大変なことも多々ありましたが、ピヤシリスキー場で生徒たちと共に活動できたことは、私をスキーの競技者として成長させてくれました。お陰様で今年66歳になりましたが、今も現役で大会に参加出場しております。名寄高校を去るとき、スキー部の男子生徒がみな、頭を丸刈りにして私を見送りに来てくれたのには、びっくりしました。その時の彼らの気持ちがわかるような気がしております。最後に私の近況ですが、まず元気な方でしょう。夏は遷野球にゴルフ、冬にはスキー、そして大時代代に勉強した英語を、読んだり、結構多忙な毎日を送っております。今の私の期するところは、とにかく死ぬまでスポーツ、ストレッチetcを続け、人様の迷惑にならないように人生を送ることで健康で元気でいければ、またみんなと会えるかもしれない。山思い出はありますが、以上の3つのことを読んで懐かしく思ってください。

ふりむけば五十年

十期会 代表 木村喜代志

「卒業五十周年記念同期会(有終の会)」が平成二十年八月九日...

白樺Cで晴天の下、「早朝ゴルフ交流会」が夫妻一組を含めて六名の参加があり親交を深め...

午後二時三十分からは「市内巡回コース」に移り、二十五名参加のもと、片岡弘道君、赤泊幸悦君が案内係としてホテルのバスに乗車した...

「白楊館」とビヤシリの「サマージャンプ台」などは、それぞれの思いを込めて見聞したことで...

このこと。まだまだやりたいことがある。前田憲一君が担当。...

祝宴会テーブルから各テーブルでは、名高祭など学生時代の思い出話、就職(現役)時代の...

西村俊二君の学生服と学生帽スタイルのもと、応援歌を発声する。...

さて、会場を移して二次会にはいる。酔うほどに意気高揚し、カラオケにはまる仲間や、談笑の...

翌朝九時頃から、遠方の友をホテル玄関先で「健康でね」と約束し、再会を期待して見送る。



名高十期卒業50周年記念同期会(有終の会)平成20年8月9日

鵜沼先生を囲んで 五十六期三年D組クラス会

高橋 一平(五十六期)

第五十六期三年D組クラス会は昨年一月二日、名寄市内の某居酒屋にて開催されました。

幹事の荒井俊勝君、高橋弘樹君と三年D組クラス担任であった鵜沼尚先生...

さてここで、今回の同期会で終わりということを受けて、札幌の仲間から五年後をメドに開催を...

思えば、昭和五十三年から平成二十年までの三十年間にわたり事務局・会計を担当した筒井禮子さんと、開催に当たり名寄の仲間と近郊の仲間たち...

ふるさと納税のすすめ

東京名寄高校校友会会長 林 泉 (名高十期)



昨年、名高同期会が名寄で行われました。卒業五十周年の記念すべき会で、渡辺 昭先生、名取先生を囲んで楽しい会でした。

私のふるさと下川でも東京下川会というのがあり、色々な年代の人たちが集まっています。

今、名寄市は地方都市の例外の洩れず、財政上のピンチ状態にあります。

翻って、名寄と東京名寄高校会はどうであろうか。少子・高齢化と共に名寄高校を卒業後に東京に来る生徒の数が激減していることは、残念なことです。

Table with columns: 開催年次等, 出席者数, 開催地. Lists attendance for various anniversary events.

Table with columns: 十期生の推移, 卒業生, 不明者, 所在不明者, 所在不明者. Shows student movement statistics.



総会・懇親会が 盛会裏に終了!!

平成二十年度名寄高校同窓会総会・懇親会が去る平成二十年十月十日（金）に例年通り、グラントホテル藤花において約百五十余名の参加を得て盛大に行われました。総会については、猿谷同窓会幹事長の開会の言葉に始まり、山崎同窓会

会長、武者校長が挨拶し、理事に移りました。二十年度の各報告、二十一年度の計画、審議等、全ての議案が承認され無事に総会を終えることができました。参加していただきました各商社様には、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

なお、総会・懇親会のスナップ写真と、懇親会に協賛くださいました商社の一覧を掲載させていただきます。協賛くださいました各商社様には、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございます。



第 1 回幹事会の様子



第 2 回幹事会の様子



挨拶をする山崎会長（4期）



挨拶をする武者校長



乾杯の発声をする加藤道議会議員（12期）



総会の開会を宣言する猿谷幹事長（19期）



万歳三唱の音頭をとる橋場副会長（3期）



総会を進める山崎会長と事務局長



総会でご祝辞を述べられる藤原教育長



来年度の当番幹事を代表して挨拶する
箕島浩幸さん（左、35期）と
鯖戸貴也さん（中央、45期）



挨拶をする得能幹事長（24期）



懇親会の司会を務める佐々木憲一さん（24期）



懇親会の開会を宣言する塩田さん（24期）



お楽しみ抽選会



懇親会のゲームのヒトコマ

平成 20 年度 総会 協賛 商社 一覧

(敬称略・順不同)

- | | | |
|-----------|----------|-------------|
| ㈱ 北方印刷所 | 東洋電化センター | J A 道北なよろ |
| 清水金物店 | ㈱ 黒川商店 | 新光電気 |
| 鳴海商店 | 東洋製麺 | 北海道電力 |
| グランドホテル藤花 | 村西運輸 | 柴田時計眼鏡店 |
| ㈱ 名文堂 | 北星信用金庫 | ㈱ 名寄振興公社 |
| ㈱ 森実商店 | 真嶋食品 | 靴スポーツのすま |
| 木賀商店 | 今田薬局 | ㈱ ミヤザキ |
| ベスト電器駅前店 | 志水商店 | 喜信堂 |
| フタバ | 松前陶器店 | 青野海産物店 |
| カメラの写楽 | 定木税理士事務所 | 東洋肉店 |
| 土屋ホーム名寄支店 | ㈱ 喜多印刷所 | ㈱ 坂下組 |
| 池田薬局 | 辻薬局 | アキ写真店 |
| 井上布団店 | いろは肉店 | 北昭産業 |
| かまくん本舗 | 石田商店 | 吉川印刷 |
| スタジオ稲場 | 大野組 | 梅村商店 |
| ㈱ カメラのスズキ | 倉澤組 | 梅野博司法書士事務所 |
| 名寄土管 | ダスキン滝沢 | なよろ菓子工房ブラジル |



お楽しみ抽選会を進める幹事の皆さん



受付の風景



総会・懇親会の様子



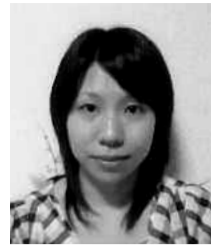
総会・懇親会の様子

さわやかな若い波

名高Lifeと書いて

バドと読む

菅野 麻衣 (五十九期)



私は、平成十六年四月に名寄高校に入学し、平成十九年三月に卒業した第五十九期の卒業生です。現在21歳で社会人1年目、少しずつ大人への階段をのぼっています。

私の名高Lifeは、バドミントン部に入学したことからは始まりました。初めて観戦する高体連：目の前で見る先輩たちのプレーにとっても興奮し、感動しました。「いつか私たちも先輩たちのようになるよ。」という一つの目標ができました。その日から気付けてみれば毎日が部活を中心と回っていました。今考えてみると、よく毎日あんなに練習していたなあと感じます。やはり、熱心に指導してくれた東先生、一緒に練習していた仲間の存在が

追試もほとんど走ったことはなく、これもまた奇跡です。

そんな文武ともに充実した毎日を通じて、先輩たちを夢見たあの日から丸二年が経ちました。とうとう：私たちの高体連の日がやってきました。一時は部員数5人の弱小チームだった女子バドミントン部が、いつの間にか部員も増え、実力もアップし、胸を張れるチームになっていました。そして、私たちはなんと7年ぶりに団体優勝を果たし、優勝カップを手に入れました。初めて持つ優勝カップは、とても重たく、私たちは本当に勝ったんだと実感しました。

思い返せば、負けて悔しい思いをしたり、怪我に苦しんだり、辛いこともたくさんありました。しかし、そんな中で仲間とともに勝ち取った優勝は一生の宝物です。今でも女羽は仲が良く、女羽会という名の飲み会が開催されます。本当にいつかの仲間たちです。たくさんの後輩にも恵まれ、今でも名高女羽は良いチームです。

高校卒業後は、札幌の専門学校に進学しました。専門学校でも友達と一緒に

バドミントンサークルを作り、専任連では女子シングルスで優勝も果たしました。(専門学校時代は、ちゃんと勉強もしていました。)

今ではバドミントン暦9年目です。多分、死ぬまでラケットを置くことはないでしょう。

最後にりましたが、バドミントンによって得た「集中力」「あきらめない強い気持ち」「大切な仲間」は今となっては私にとってもプラスになっています。最初はなんとなく始めたバドミントンですが、今では生活の一部です。

現在私は、名寄高校の事務室で臨時事務生として勤務しています。学校に来る文書の受付を行ったり、消耗品の管理をしたり、消耗品の管理をし

たり：という仕事です。職員として母校である名寄高校で働けることは、他では決して出来ない経験です。また、先生方や事務の方々がどれだけ生徒たちのために動いてくれたのかを知り、感謝の気持ちでいっぱいです。

最後にになりましたが、バドミントンによって得た「集中力」「あきらめない強い気持ち」「大切な仲間」は今となっては私にとってもプラスになっています。最初はなんとなく始めたバドミントンですが、今では生活の一部です。

現在私は、名寄高校の事務室で臨時事務生として勤務しています。学校に来る文書の受付を行ったり、消耗品の管理をしたり、消耗品の管理をし

最後にになりましたが、バドミントンによって得た「集中力」「あきらめない強い気持ち」「大切な仲間」は今となっては私にとってもプラスになっています。最初はなんとなく始めたバドミントンですが、今では生活の一部です。

現在私は、名寄高校の事務室で臨時事務生として勤務しています。学校に来る文書の受付を行ったり、消耗品の管理をしたり、消耗品の管理をし



名寄高校吹奏楽部 札幌公演開催される!!

札幌ピヤシリ会プレ十五周年記念と銘打って「名寄高等学校吹奏楽部札幌公演」が二〇〇九年十月二日(金)札幌コンサートホール Kitara Hallにおいて、十九時開演(十八時三十分開場)されます。主催は札幌ピヤシリ会、後援は名寄高校同窓会本部、入場料は一、〇〇〇円(全席自由)となっています。

今回の公演につきましては、昨年度(平成二十年)の札幌ピヤシリ会総会に本校の武蔵校長が出席した際、札幌ピヤシリ会会長の大島一泰様から「平成二十二年、札幌ピヤシリ会が創立五十周年を迎えるにあたり、吹奏楽部の生徒たちも、「キタラで演奏できる」とモチベーションも上がり、熱心に毎日の練習に取り組んでいます。きっと素晴らしい演奏が聴かれます。



演奏会になることで、是非会場に足を運んでいただき、演奏をお聴きください。

なお、チケットの販売については、キタラ内のチケットセンターで購入できます。また、演奏会実行委員長、山森鉄夫司法書士事務所(T E L O 一七三七〇五五)もしくは名寄高校同窓会事務局、丸山功(T E L O 一六五四三五六八四二)までご連絡ください。

棚橋先生(名高十四期)を偲んで

平成二十一年五月三日、名寄高校十四期、棚橋永治先生(美術)が逝去されました。生前からの名寄高校へのご尽力に対し心から感謝申し上げます。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

棚橋先生は、昭和六十年から二十四年間の長きにわたって、名寄高校の美術の非常勤講師として、生徒たちに美術に関わる多くのことを指導していただきました。また、平成十四年発行の同窓会報第三十五号でも紹介さ

せていただきましたが、この年に棚橋先生から名寄高校に油絵「早春譜之図」(写真)が寄贈されています。この年は、名高十四期生が卒業四十周年を迎え、奇しくも母校の創立八十周年記念の年と重なり、記念式典が挙行される十月十九日に同期会が開催されました。その席で、母校に何か寄贈をしようということで、名寄市在住で画家の棚橋先生に絵画を描いてもらい、母校に寄贈されました。この油絵は、校長室



同窓会報第43号の原稿募集

平成22年7月25日発行予定の同窓会報第43号の原稿と広告を募集いたします。会報の掲載内容は、同窓会役員や各支部役員、同窓生個人、原稿、旧職員の原稿、支部分会、同窓生の活躍状況などがあります。寄稿を希望する方は、事務局(T E L O 016541316841)名寄高校丸山功までご連絡ください。原稿用紙をお送りします。写真(個人写真、その他)がありましたら、数枚ご提供下さい。来年も、支部だよりや同期会だよりを積極的に掲載させていただきます。と考えていますので、ご協力よろしくお願いいたします。

編集後記

お陰様をもちまして、今年度も同窓会会員の皆様のご協力をいただきながら、名寄高校同窓会報第四十二号を発行することができました。原稿の提供等でご協力いただいた会員並びに旧職員の方々にはこの場をお借りして心よりお礼申し上げます。

毎年七月下旬の同窓会報発行に向けて、この時期(六月下旬から七月上旬)に編集作業をしています。現在校内では、名高祭に向けての準備作業に全校生徒たちが懸命に取り組んでいます。全道大会も無事終了し、三年生は受験に向けてスタートはしていますが、この準備期間中及び名高祭当日の三日間はちよつと受験勉強から気持ちを名高祭に集中しているようです。そして毎

平成21年度及び22年度総会日程

今年度(平成21年度)の本部総会・懇親会は、平成21年10月16日(金)18時30分からグラントホテル藤花で開催されます。当番幹事は、名高25期、35期、45期と名定21期の方です。

また、来年度(平成22年度)は、名高26期、36期、46期と名定22期の方々に当番幹事で、平成22年10月8日(金)18時30分からグラントホテル藤花で開催される予定です。

今年度(平成21年度)の本部総会・懇親会は、平成21年10月16日(金)18時30分からグラントホテル藤花で開催されます。当番幹事は、名高25期、35期、45期と名定21期の方です。

また、来年度(平成22年度)は、名高26期、36期、46期と名定22期の方々に当番幹事で、平成22年10月8日(金)18時30分からグラントホテル藤花で開催される予定です。

(同窓会事務局)